

チャレンジデー 2016 ～北海道富良野市に惜敗～



5月25日、チャレンジデー2016が行われ、北海道富良野市と15分以上の運動・スポーツをした人口の割り合いを競いました。

市内全域で、総勢1万1千人以上の方が参加し、過去最高の参加率を記録しましたが、残念ながら富良野市に惜敗となりました。来年はさらに頑張らしましょう。対戦結果は次のとおりです。

| | | |
|------|-----|--------------------|
| にかほ市 | 人口 | 25,981人 |
| | 参加者 | 11,041人 (参加率42.5%) |
| 富良野市 | 人口 | 22,945人 |
| | 参加者 | 10,192人 (参加率44.4%) |



新緑の森を満喫

～中島台・獅子ヶ鼻湿原森開き～

5月22日、中島台レクリエーションの森で市観光協会主催による「中島台・獅子ヶ鼻湿原森開き」が行われました。

好天のもと、訪れた約60人の参加者は、8組に分かれて観光案内人によるガイドで森の散策を楽しみました。県外からの参加者も多く、毎年この時期の散策を楽しみにしているとの声も聞かれました。

「あがりこ大王」などの異形樹木群や「出つぼ」など湧水池を含む中島台・獅子ヶ鼻湿原は、市内に13あるジオサイトの一つです。



観光案内人による説明で森への理解も膨らみます！

想定を超える災害にどう向き合うか

～にかほ市防災講演会～

5月28日、仁賀保勤労青少年ホームにおいて、片田敏孝群馬大学大学院教授による防災講演会が開催され、市民ら約230人が聴講しました。

全国各地で地域防災に関わった経験の中から、特に釜石市において児童・生徒を中心とした津波防災教育を指導した経験を取り上げ、釜石市の避難3原則などを紹介しました。

また、講演に先立ち仁賀保高校内生徒自主防災会Be助人による活動紹介が行われ、聴講者から「若い力に期待したい」などの声がありました。



「釜石の奇跡」で著名な講師の講演会

叙勲 瑞宝単光章



佐藤 勝男さん(畑)

昭和34年から平成19年までの48年間、消防団の一員として災害現場の第一線で活躍されました。

また、平成13年からは仁賀保地区消防団団長として、さらに平成17年10月の市町村合併時からはにかほ市消防団団長として消防の発展にご尽力された功績が評価され消防功勞、瑞宝単光章が授与されました。

【叙勲】地域社会や経済の発展などのために長年尽力され、功勞のあった方に授与されます。

瑞宝単光章



森 健一さん(浜畑)

平成2年から秋田県職業能力開発協会の委嘱を受け、検定委員として受験者の技能を見極めてきました。

また、平成10年からは秋田県内装技能士会会長、平成19年からは県室内装飾事業協同組合副会長を務め、業界の発展と後進の育成にご尽力された功績が評価され技能検定功勞、瑞宝単光章が授与されました。

平成28年度秋田県社会教育委員 連絡協議会表彰

佐藤倉太郎さん(鈴)

市社会教育委員として長年在任し、本県の社会教育の推進および秋田県社会教育委員連絡協議会の発展に顕著な功績があると認められ受賞しました。

小さな苗に思いを込めて

～ケチャップ用トマト実験栽培～

5月8日、芹田地区の畑ではケチャップの原料となるトマトの実験栽培が行われました。芹田地区には風力発電を行っている生活クラブの風車があり、トマトの実験栽培は風車をきっかけとした生活クラブと芹田地区の交流から始まりました。

今回の実験栽培は、昨年続き2回目の実施で、栽培面積も3倍に増やし約7アールの畑に定植しています。芹田地区の皆さんが植えた小さな苗が、夏には真っ赤なトマトをたくさん実らせた景色が広がっていることでしょう。



ちいさな苗を大切に植えました